



構想25年、理想のガレージが完成した

## 愛車はアート作品のように照らされ、 家族はラグジュアリーな空間で寛ぐ。

自宅ガレージの設計と建築は、人生における一大事だ。  
やり直すことが難しいこのプロジェクトをどこに依頼するのかは、大事な決断となる。  
電設会社の経営者で、自身も技術者として図面を引くというMさんが選んだのは、  
創業42年、2000棟施工の実績を誇る株式会社ハウゼだった。

report: Takeshi Sato photo: Masahiro Okamura(CROSSOVER)



神奈川県横浜市都筑区の郊外。大規模な商業施設が並ぶ大通りは賑やかであるけれど、一歩外れると緑に囲まれた閑静な住宅街が広がる。そうした好ましい居住環境の一角に、ホワイトとグレーをベースにしたシックな雰囲気の邸宅は位置する。約2年半の工期を経て、2025年初頭に竣工したMさんのお宅だ。

外観は落ち着いた雰囲気なのに、間口の広いシャッターを開けた瞬間、周囲の空気がパッと華やかなものに変化した。イエローのランボルギーニ・ディアブロGT-Rとフェラーリ512TR、そして白いフェラーリ488スパイダーが姿を現わしたからだ。そしてMさんの3台の

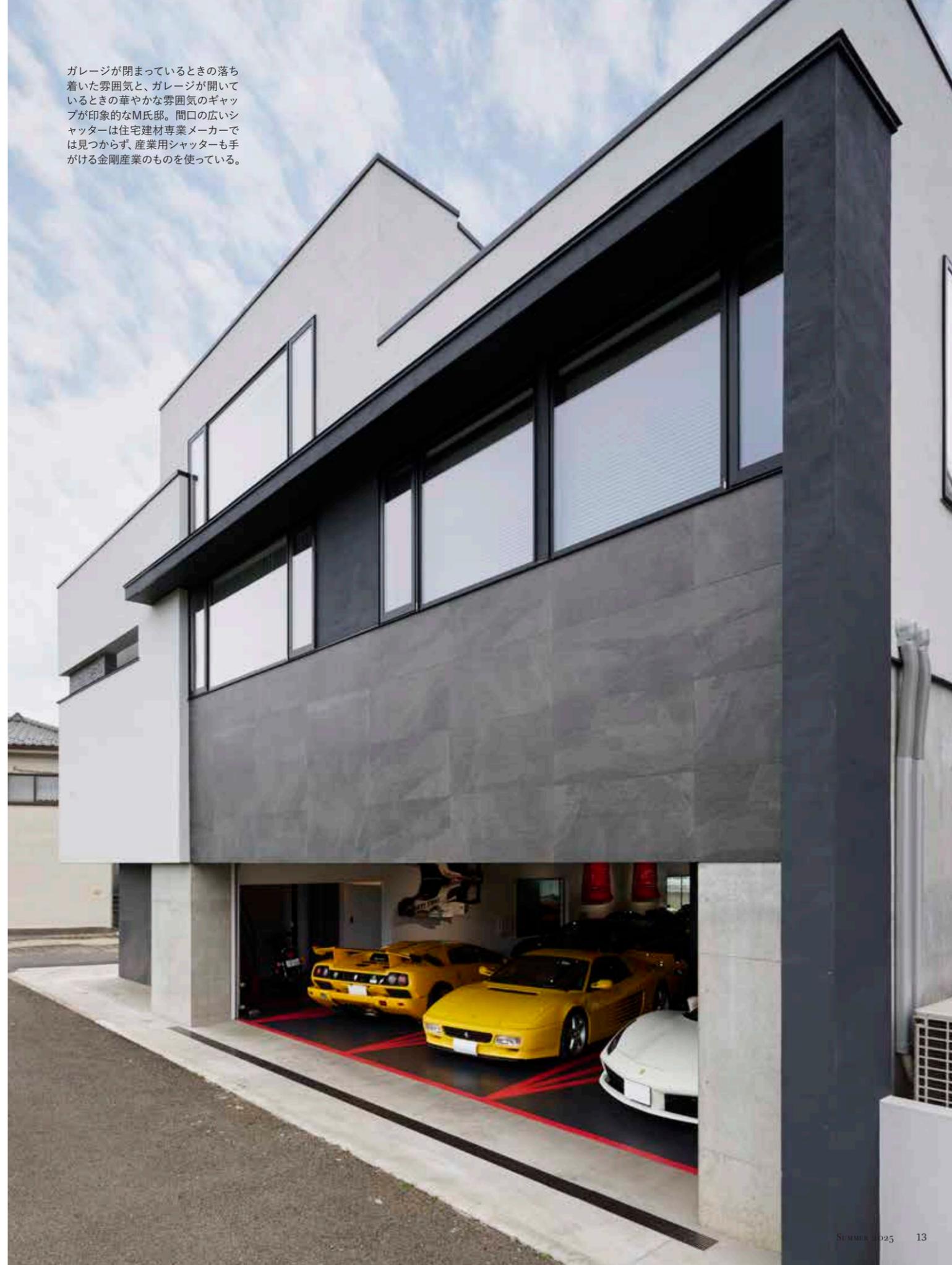
愛車の背後には、友人から預かっているというディアブロGT-Rとマクラーレン・セナが控えている。

クルマ好きにとって、ガレージを備えた自宅はひとつの夢だ。そして夢をかなえる方法は、経験者に聞くのが一番の近道。今回はMさんを尋ね、ガレージ完成に至るまでの道のりをうかがった。

### テスタロッサの次の愛車はハイエース

「最初にガレージを欲しいと思ったのは25年前、25歳のときですね」とMさんは遠くを見るような眼差しで、当時を振り返る。

ガレージが閉まっているときの落ち着いた雰囲気と、ガレージが開いているときの華やかな雰囲気のギャップが印象的なM邸。間口の広いシャッターは住宅建材専門メーカーでは見つからず、産業用シャッターも手がける金剛産業のものを使っている。





ランボルギーニ・ディアプロのイエローが映えるように、あえてガレージ内の色使いはシンプルなものにしたとのこと。



フロアをはじめ、ガレージの低い部分を黒くすることで、排ガスによる汚れを目立たないように工夫している。



ガレージ内、ラウンジスペースの照明にもこだわっており、ガレージというよりミュージアムのような雰囲気になっている。

「25歳のときに、かなり無理をして1990年型の（フェラーリ）テスタロッサを購入しました。普通の会社員でしたから、毎日カップラーメンをすすりながら維持しているという感じで（笑）、でも青空駐車をするわけにはいかないので、近所の地下駐車場を借りました。当時、知り合いにガレージハウスを建てた方がいらして、リビングからガラス越しに自分のクルマを眺められるような設計だったんです。あれを見て、いつかはこういう家に住みたいと思ってガレージ付きの自宅について情報を集めてきました」

ただし、Mさんによるとその道程は真っ直ぐではなかったという。最初の曲がり角が、電設会社を設立したことだった。

「最初のテスタロッサには3年ぐらい乗ったんですが、自分の会社を立ち上げるときにテスタロッサを売って、そのお金を資本金に充て

ました。テスタロッサを手放したあとは、走行距離10万キロ、83万円の（トヨタ）ハイエースを5年ローンで買ったんです。そこから6、7年ぐらいは仕事もプライベートもハイエースで、屋根に梯子を載せたまま家族で遊びに行ったこともありました（笑）」

会社の経営が軌道に乗るにつれ、クルマ趣味が再燃する。

「一番好きなのがディアプロで、このディアプロを買ってしばらく楽しんでたんですけど、本格的にレストアしたいと思ってガレージに預けたんですね。結果として（レストアに）3年かかっているんですけど、1年が経過したところでスポーツカーが手元にはないのは耐えられないと思って、フェラーリの430を買いました。そして430の後継が、この488スパイダーという流れです」

会社経営に勤しみ、クルマ趣味を楽しむ間にも常に続けていた

のが、ガレージ付き住宅を建設するための情報収集だった。Mさんは、ガレージを建てた知り合いから、何度か同じ施工会社の名前を聞いたという。それが、神奈川県横浜市都筑区に本社を構える株式会社ハウゼで、1984年の創業以来、多数の住宅やテナントビルを手がけてきた老舗だ。

「ハウゼの評判がよくて、ホームページを見たらセンスが合う。大きな括りで言うと僕も同業者だから、知り合いのガレージを見て信頼できることがわかりました。ハウゼのモデルハウスにも何度か通って、いつかはここにお願いしたいと心に決めていました」

2022年頃、Mさんは夢の実現に踏み出す。用地の取得に関して「ここからハウゼのお世話になりました」とのことだ。

「ハウゼの関連会社には不動産会社もあって、土地を探してくれま

した。クルマを5、6台置くことができるスペースと、家族が住みたいと思える環境という希望に沿った土地が見つかりました」

#### 家庭の平和のために大事なことは

実際に設計が始まると、もうひとりの人物が現われる。ハウゼの営業本部設計部でチーフアーキテクトを務める宮島 進氏で、以来、Mさんと宮島さんは二人三脚でこのプロジェクトに取り組むことになる。宮島さんは、用地取得直後の様子をこう回想する。

「これは少し特別なケースで、というのもMさんご自身で図面を引ける方なので、リクエストがすごく具体的でした」

Mさんのリクエストは、まずガレージ内に柱が存在しないように、アウトフレームにすること。ガレージを一望するラウンジスペースを



2階の居住スペース、リビングからダイニングキッチンを望む。間接照明によって、穏やかで上質な空間となっている。テレビの下は、煙や煤が発生しないバイオエタノールを燃料とする暖炉。



天井の高さと、採光性のよさで心地よい空間となっているダイニングキッチン。1階のガレージから階段を登って2階に上がるとがらっと雰囲気が変わることに驚かされる。

少し高い位置に設計して、上からクルマを眺められること。愛車を引き立たせる照明や壁の色などについても、Mさんは明確なイメージをお持ちだったという。もちろん、換気や温度と湿度を調整するエアコンなど、基本的な機能も万全の備えだ。

宮島さんによれば、ラウンジスペースとガレージを隔てるガラス戸や、ラウンジスペースに上がるための階段などは、既製品では対応できなかったために特注だという。宮島さんは、「妥協なくやらせていただいたので、自身のキャリアハイ、最高傑作だと思います」と胸を張った。

2年半をかけて完成した自宅兼ガレージで特に気に入っているところはどこかと尋ねると、Mさんと宮島さんは顔を見合わせて、少し

困った顔をした。Mさんは言う。

「全体的に思ったとおりに出来上がったので、一番気に入っているところというのは特に……。強いて言えば、全体のバランスがうまくまとまっていることでしょうか」

宮島さんもMさんの発言にうなずく。

「全体の縦横比だとか、配色だとか、バランスが整っています」なるほど、素人はつい一箇所に注目したくなるけれど、プロフェッショナルの目で見ると、全体のバランスがなにより大事なのだ。

自宅兼ガレージが完成して生活がどう変わったかをMさんに尋ねると、「実は結婚して以来、自分の部屋を持つのが初めてなんですよ」と少し照れくさそうに笑った。

「仕事から帰ってくると、まずこのラウンジスペースで寛ぎます。映画を見るのも音楽を聞くのもここで、週末には友人とお酒を飲みながらクルマ談義を交わします。自分の城という感じです。そうそう、このガレージを建てるのが決まってから、512TRを探しました。手放してしまったテストロッサを取り戻したくて、でも新しいぶん、はるかに性能がよくなっていました」

ガレージを建てたいと思っている読者にアドバイスをお願いすると、「あくまで自分の考えですが」と前置きをしてから、こう答えた。「僕はオイルやガソリンの匂いが好きだし、ゴムの匂いも気になりません。でも家族は必ずしもそうではないので、居住空間とガレージをわけて考えたほうが家庭の平和につながると思います」

なるほど、M氏邸はたしかにこのふたつがきっちりと別れていて、奥様に話を聞いてもそこが気に入っている点のひとつだという。

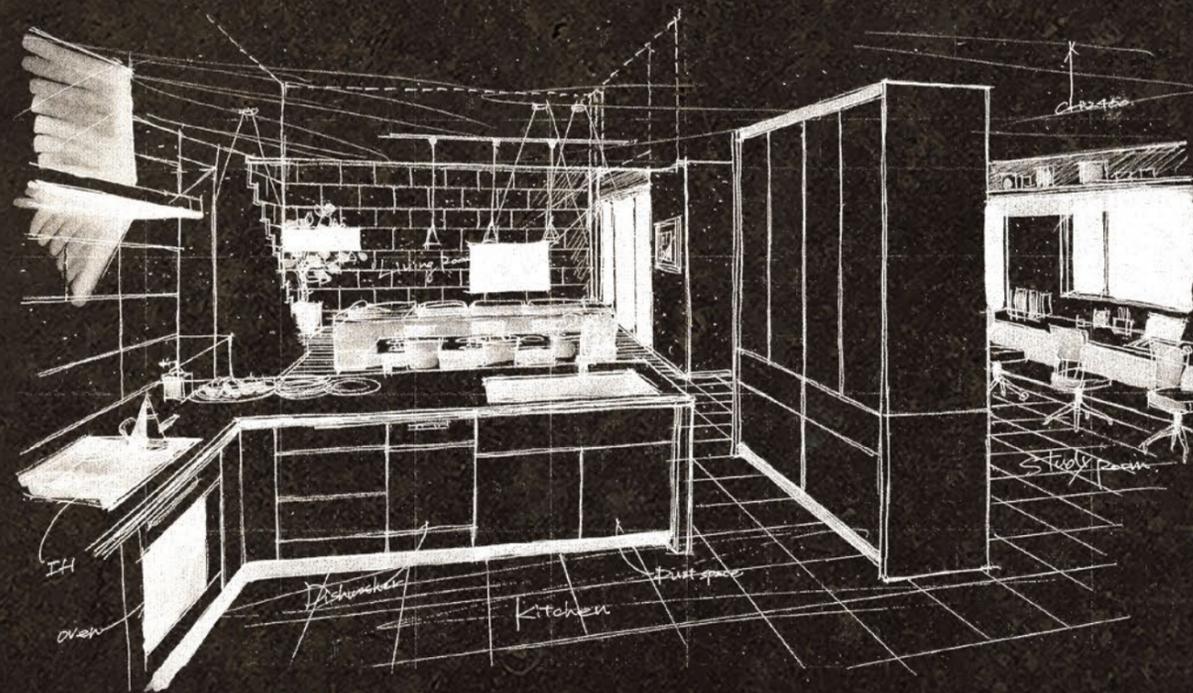
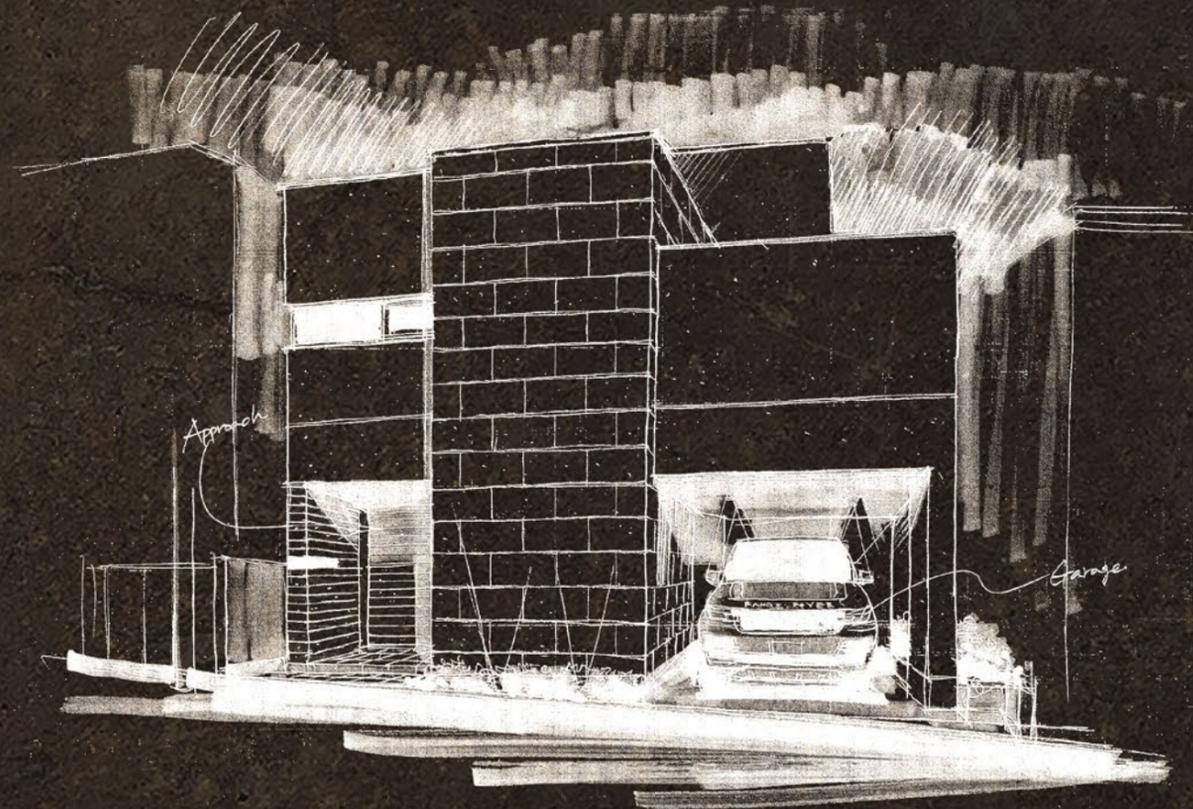
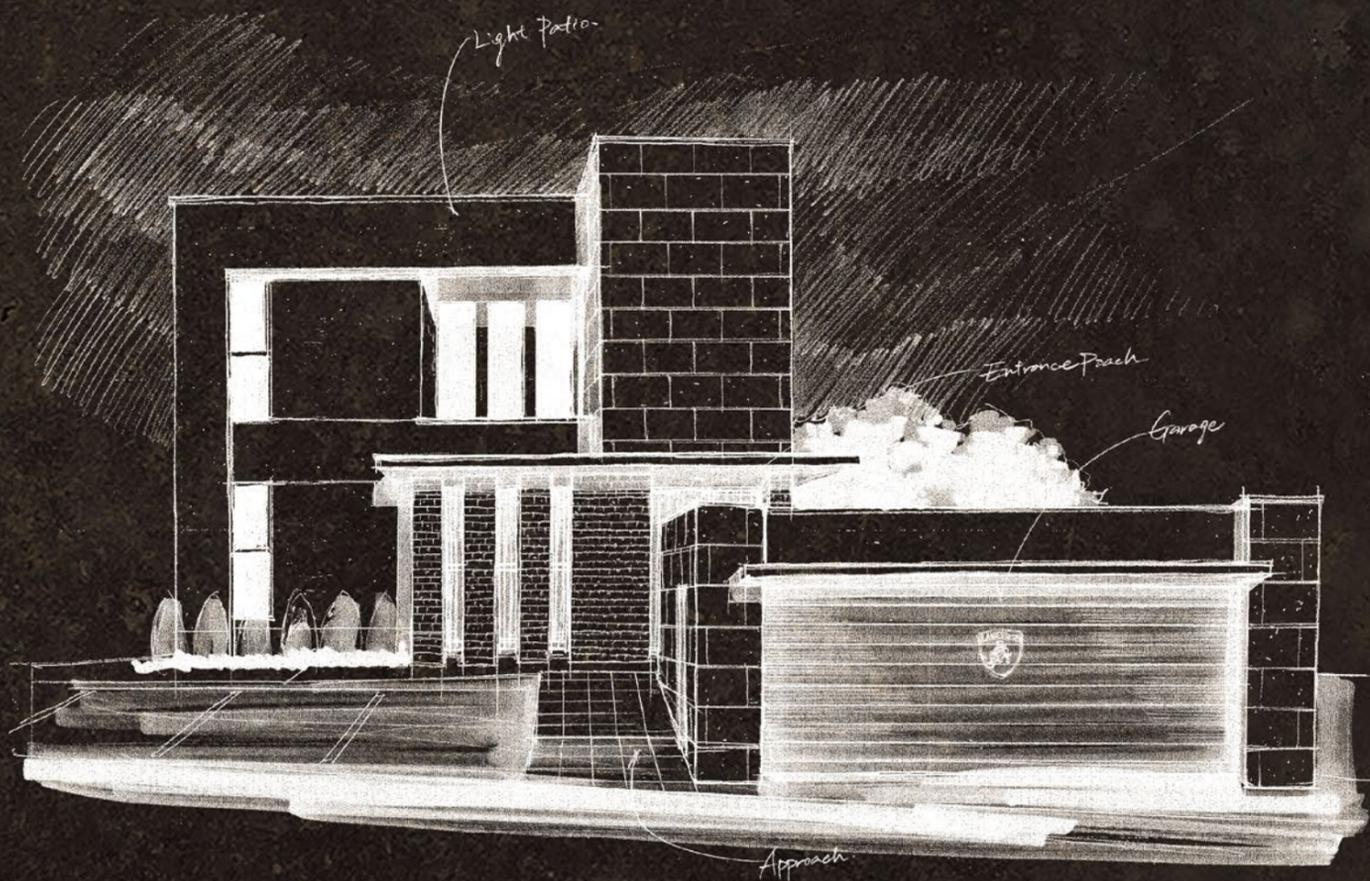
話をうかがって印象に残ったのは、Mさんのようなプロフェッショナルでも、自宅兼ガレージを建てる際はハウゼのように有能なパートナーが付いてくれると安心ということだ。どんなガレージにしたのかという明確なイメージを持つことと同時に、それを実現してくれるパートナーを見つけることが大事だと実感した。

株式会社ハウゼ  
☎0800-800-8617

## それは、一枚のスケッチからはじまる。

ハウゼの住まいづくりは、お客様の希望や漠然としたイメージを、一枚のスケッチで具現化するところからはじまります。それは、クルマをこよなく愛するオーナー様のための、ビルトインガレージハウスの場合もちろん同様です。

その一枚のスケッチから膨らませた「愛車とともに人生を謳歌する家」をカタチにしていくのは、空間に対してさまざまなアイデアを提案する設計デザイン力、そして設計から施工までを一貫して自社で請け負う技術力。完全自由設計・フルオーダーメイドだから、思う存分こだわって、もっとわがままに。それが“ハウゼスタイル”です。



株式会社 ハウゼ

注文住宅・リフォーム・土地有効活用

横浜市都筑区牛久保西 2-1-27

0800-800-8617

YAMASUGE HOLDINGS



Official HP



Instagram  
@OFFICIAL\_HOUZE\_

## 新しいハウゼ、はじまります。

2025年5月、横浜に新たな拠点が誕生

Office & Showroom NEW OPEN! 詳しくはHPから

## そこは、心動かす新しい住空間に出会える場所。

2025年5月、私たちは新社屋をオープンいたしました。

そこには、これまで積み上げてきた理念や技術、デザイン、そして住まいに込める想いを細部までこだわって反映。

ハウゼの世界観を表現したショーケースと言える空間となっています。

1階は、どなたでも自由にご覧いただけるレセプションスペースとして開放し、2階はハウゼの新しいオフィスとなります。

私たちが目指す暮らしのかたちを、ぜひ体感しにいらしてください。

# HOUZE

<https://www.houze.co.jp>